

JAB 化学試験所 の認定

ISO/IEC
17025

～多岐にわたる化学試験～

資源や廃棄物は、社会において様々な形で移動、循環しています。化学試験所は、それらについて分析、評価を行うことで、安全な社会生活を守るために重要な役割を果たしています。認定機関であるJABは、これまでに200件以上の化学試験所を認定しています。

環境保健の分野

◆化学物質と環境

実態調査とリスク評価

環境分析

土壌、水質、大気における有害物質の分析・測定を通じて、環境負荷の調査および人の健康や生態系に対する影響の監視を行います。

健康被害調査・分析

- ・子供の健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）
- ・アスベスト調査
- ・シックハウス症候群原因化学物質調査など

国際的な動き

POPs（残留性有機汚染物質）の分析

環境中での残留性、生物蓄積性、人や生物への毒性が高く、地球規模での汚染が懸念されるポリ塩化ビフェニル（PCB）などの残留性有機汚染物質を対象とした分析。2001年5月にストックホルムで開催された国際環境計画（UNEP）の会議において採択された条約で、これらの物質の制限、排出の削減、適正な処理などについて規定しています。

リスク管理、リスクコミュニケーション

PRTR（環境汚染物質排出移動登録）制度に基づく調査等

◆公害健康被害対策推進

環境アセスメント（自動車排ガス分析）

幹線道路沿道での自動車排ガスなどによる健康影響調査。

水銀・メチル水銀の分析

「水銀に関する水俣条約」の実施のための国内措置。

水銀拡散防止対策

水銀使用製品の製造を規制する水銀環境汚染防止法の施行と、水銀廃棄物の取扱いを定めた廃棄物処理法の強化が図られた（有価物としての取扱いから特別管理廃棄物への変更）。

◆石綿健康被害対策推進

石綿（アスベスト）の分析

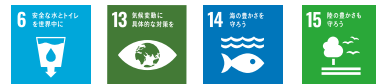
石綿排出量については、国土交通省、厚生労働省、環境省などの法令により調査と分析による適正な処理が義務付けられています。

環境再生・資源循環の分野

WEEE 指令及びRoHS 指令による分析

廃棄物・リサイクル対策と放射性物質汚染対策との一元的な取り組みとして実施しています。

水・大気環境の分野



環境基準（水質環境、大気環境、土壌環境）に関する分析

「水質汚染防止法」、「大気汚染防止法」、「土壌汚染対策法」などで定められた基準をクリアしているかを判断します。

ダイオキシン類の分析 廃棄物焼却施設などから排出されるダイオキシン類による汚染。

水道の水質

2002年（平成14年）2月8日の水道法改正により水道水質検査体制が大幅に改訂され、信頼性確保の要求が強化されました。ISO/IEC 17025の認定を受けている試験所は、水質検査機関の登録申請時にISOの関連文書を添付すれば、以下の分析項目の一部もしくは全部の代替とすることができます。

水道水質基準（51項目）の分析

水質管理目標設定項目（26項目）の分析

要検討項目と目標値（47項目）の分析

シックハウス症候群

●有機溶剤、揮発性有機化合物（VOC）の分析：建設資材、室内装備材、接着剤、塗料などに含まれる有害物質や、発生する各種の揮発性有機化合物の放出量の分析、評価。

●カビや微生物の分析

サーキュラー エコノミー

製造技術・製品の 品質向上

